理事会だより ～第4回～

★「学会役員のお仕事」

プラズマ・核融合学会は、発足当時から入会させて頂いた学会で、私個人としても大事な学会です。以前は主に研究発表の場として、またそのあと年齢が上がるとともに学会運営に参画しながら、多くの先生方と一緒にプラズマ・核融合研究分野の発展を目指して協力させて頂いています。本年6月まで副会長として森会長、竹入会長の補佐役として活動を行っていました。

学会活動には年間を通しての学会誌編集や年会開催など大きな仕事のほか、総務、財務、広報など多くの活動があり、各理事の先生方で分担しながらすすめています。副会長の任期は2年で、その間に主に各種学会賞や年会で行われる若手学会発表表彰の審査を行ったり、専門委員会や研究部会への支援、各賞への学会推薦審査、そして男女共同参画関係活動などを2名の副会長で分担し担当しています。学会運営にかかわる諸案件は各委員会が担当しますが、学会長が示す方針やアクションプランなど学会全体の動きについて様々な責務を学会長と分担しながら進めていく役目です。

昨今はカーボンニュートラルをめざしたグリーンテクノロジーの活用など日本社会の再生を含めた骨太の方針が産業界で話題となっています。カーボンニュートラル実現を目指し、世界中で核融合研究に対する期待が高まっている中で、関連したベンチャー企業の興隆など新しい潮流も生まれています。プラズマ・核融合研究を取り巻く環境が変貌している中で、本学会も新しい仲間を増やす活動も重要です。さらに、多様な価値観を尊重するDEI (Diversity, Equity, Inclusion) 活動も一般社団法人として重視しています。女性会員はまだまだ少ないですが、男女共同参画委員会を中心に女性会員増や理系女子育成と活躍に向けた活動に協力しています。

また、プラズマ・核融合分野の様々な啓発活動や広報等を含めた学会活動を奨励し、さらなる活動を促進する目的で、あらたに「学会活動奨励賞」を設けました。是非、学会員の方々も様々な啓発活動にご協力いただき、プラズマ・核融合分野の発展に繋がっていくことを期待しています。

東北大学工学研究科 安藤 晃